

北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

1 施設・事業所の概要

- | | | |
|-----|-----------|--------------------|
| (1) | 事業者名(法人名) | 社会福祉法人 天心報恩会 |
| (2) | 事業所名 | 引野保育園 |
| (3) | 所在地 | 北九州市八幡西区若葉二丁目18番1号 |
| (4) | 電話番号 | (093)641-7054 |

2 評価実施日

平成18年 1月24日

3 評価実施者

北九州市(北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会)

4 評価結果

総合評価

保育園は国道から少し住宅街に入ったところに位置し、近隣には野球場や緑豊かな公共施設があります。日常的に自然との触れ合いが出来るように、園庭には大きな楠やかしの木、草が整備されています。子どもたちは、木の葉やドングリを使ってままごと遊びや見立て遊びをしたり、草むらでバッタを捕まえたりしています。また、様々な菜園活動や、米作りに取り組む等、自然と触れ合う機会が積極的に設けられており、評価できます。保育場面では子ども一人一人が安心して過ごせるように、温かい言葉かけや対応がなされるなど落ち着いた雰囲気の中で保育が行われています。

施設内は保育園の広いスペースを生かしたフリースペースや絵本コーナー、子どもが落ち着けるような隠れ場的な空間等が整備されています。今後は子どもが自由に活動したり、くつろいだりできるようなコーナーの一層の活用の工夫が期待されます。

年間、週間の指導計画はクラス担任により作成され、定期的に見直しも行われていますが、保育計画との整合性を図ることが望まれます。所内研修や会議で室内環境設定年間計画が立てられ、各年齢に応じた玩具や遊具が各保育室に設置されています。見立てあそびや、ままごと遊びなどが行われていますが、子どもが自由に活動する時間をもう少し多くするとともに、子どもの発想を生かすような更なる工夫が期待されます。

近隣の小学校とは児童と園児との交流が行われるとともに、卒園した子どもの様子が把握され、保育の見直しに活用されています。小学校教師による一日保育士体験も行われていますが、教職員との計画的な話し合いの場を設定し、一層の相互理解を深めることや、他の保育所との子供同士、職員間の交流が深められるような取り組みが望まれます。

安全・健康管理については各種マニュアルが整備されるとともに、チェックリストを用いたきめ細かな確認がなされており、評価できます。

地域の子育て支援としては、市民センターでの子育てサークルを対象とした遊びの提供が行われています。保育園としての取り組みの充実が課題ですが、情報提供のための屋外掲示板が設置され、さらには未就園児親子を対象とした定期的な施設開放や、育児講座開催に向けての検討が進められているところであり、今後は期待されます。

園内研修については人権、児童虐待、個人情報保護、感染症などについてさまざまな内容が盛り込まれ、今後さらに幅広い分野の研修に取り組む意欲も見られます。また、保育内容や環境の整備、地域の中での保育所の役割などについて、今後よりよい方向に向けた、積極的な取り組みの姿勢が伺え、評価できます。

評価対象ごとの評価（概要）

評価対象	評価結果
<p>子どもの発達援助</p> <p>一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。</p>	<p>地域の実態や自然に恵まれた園の特色、保護者の意向を考慮し、豊かな体験や人々との交流、異年齢児との関わりを大切にする保育に重点を置いた保育計画と指導計画が作成されています。今後は保育計画と指導計画との整合性が図られることが望まれます。様々なケースの子どもへの対応については、外部講師を招いての園内研修の開催や、専門機関からの助言を踏まえた検討が行われています。職員会議やケース会議（事例検討）の内容は記録され、職員の共通理解を図るための取り組みがなされていますが、今後一層の周知の徹底が期待されます。</p> <p>健康管理については、独自の保健衛生年間計画が項目別に整備されています。また、感染症流行期には嘱託医や関係機関からの情報や罹患状況が整理され、所内研修での確認や発症時の対応、保護者への情報提供が適切に行われています。</p> <p>アレルギー疾患の子どもについては、主治医の診断書をもとに毎月四者協議（保護者、園長、担任、栄養士）の上、除去・代替食が提供されています。菜園活動で収穫された夏野菜が食材として活用されたり、ホットケーキやふかし芋、豚汁などのクッキング活動が行われるなど、「食」への関心を高める取り組みが行われています。保護者を対象とした試食会は、年1回保育参加後に行われています。また、誕生会には誕生児の保護者に参加が呼びかけられ、共に誕生日を祝うとともに、給食メニューの食育パネルなどで「食」への啓発が行われています。</p> <p>園庭には大きな楠やかしの木があり、木の葉やドングリでままごと遊び、見立て遊び、製作活動が行われています。また園庭の草むらで、バッタ捕りをしたり、カマキリや金魚の飼育、花壇・畑の手入れなどを通して自然と触れ合う取り組みが積極的になされており、評価できます。保育園の広いスペースを生かしたフリースペースや絵本コーナー、子どもがくつろげるような隠れ場的な空間が設備されています。絵本の読み聞かせや絵本の貸し出しなどを通して、保護者と共に絵本に親しめるような取り組みがなされています。</p> <p>保育場面では、保育士が子ども一人一人の気持ちを受け止め、温かい対応がなされている様子が伺えます。また、子どもの言葉を引き出すようなことば掛けをするなどの援助もなされています。乳児保育では、安全・衛生管理についての独自のチェック表により、適切に確認が行われています。延長保育では、子どもの健康状態等についての引継ぎが適切に行われ、保護者に伝えられています。また、異年齢児の「小さなファミリー」グループを作り、子どもが遊びを楽しみながら安心して、保護者の迎えを待てるような配慮がされています。</p>

<p>子育て支援</p> <p>子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。</p>	<p>保護者とは日常の情報交換は、3歳未満児は個人連絡帳、3歳以上児はクラスノート等で行われています。クラス懇談会、個別面談も定期的に開催され、保護者との相互理解が図られています。保護者会からは、保護者会だよりが年3回発行され、行事への協力も得られています。</p> <p>虐待についてはマニュアル等が整備され、日常から早期発見を心がけています。関係機関との連携も図られ、通報・対応体制が整えられています。</p> <p>地域の子育て支援の更なる充実が望まれますが、保育園としての取り組みの検討が進められているところであり、今後が期待されます。</p> <p>一時保育は職員の共通理解のもと取り組みがなされています。受け入れ時には子どもの状況把握に努め、一日の様子を記録して保護者に伝えられています。</p>
<p>地域住民や関係機関等との連携</p> <p>地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。</p>	<p>市や地域の関係機関から収集した情報はジャンル別に整理され、保護者に閲覧や配布により提供されています。子ども総合センター等の専門機関や区役所、市民センター、民生・児童委員との連携が図られ、保育の取り組みが進められています。</p> <p>近隣の小学校とは児童と園児との交流や小学校教師の一日保育士体験が行われていますが、今後は教職員との計画的な話し合いの場を設定し、相互理解を深めることが望まれます。また、他の保育所・幼稚園との交流も期待されます。園行事には老人会を中心とした地域の年長者や、地域の子どもたちが招待され、交流の機会が設けられています。</p> <p>保育実習や保育ボランティア、小中学生を中心とした保育体験それぞれの受け入れマニュアルやプログラムが用意され、積極的な受け入れがなされています。</p>
<p>運営管理</p> <p>保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。</p>	<p>保育理念と基本方針が明文化され、園内に掲示されるとともに、ホームページを通して周知が図られています。保育の質の向上に向け、職員会議では、職員からの意見や、保育の課題、保護者からの苦情などを取り上げ検討されています。研修については年間計画が策定され、研修内容の記録の閲覧により周知が図られています。職場内研修は、感染症、救急法、虐待、人権等をテーマとして開催されています。守秘義務や個人情報保護については、全国保育士会倫理綱領をマニュアルとして、その趣旨について全職員に徹底が図られ、誓約書が提出されています。</p> <p>保育所での子どもの様子や行事等については、写真やイラストなどを活用し、保護者に分かりやすく伝える工夫がなされています。園行事や保育所での取り組みは、近隣の市民センターや店舗へのポスター掲示や、園外掲示板を通して情報が提供されています。</p> <p>安全・衛生管理については各種マニュアルが整備され、安全管理チェック表による点検や、訓練、職場研修が行われています。緊急時の警察への通報体制も整えられ、安全、衛生管理に関する高い意識が伺え、評価できます。</p>

